JAだよりおおがた
Ogata
11
NOVEMBER
2018 No.544

特集

先人に学び農業の未来をひらく
第141回秋田県種苗交換会 04

今月の表紙 「秘湯　火点し頃」

2005年11月30日午後５時頃撮影。
冬の雪に埋もれた山形県の銀山温泉を写したくて出かけて行ったら、今年一番の大雪となった。往き来には難儀したが、しっとりとした雪景色が写せたと思っている。
撮影／大潟村写真クラブ　樋熊　正夫 さん

今月号の主な内容

02　あぐりプラザ情報・健康百科
03　女性部活動だより
06　おぉがたな話題・営農だより（作況調査結果）
07　今月のいちおし情報（ＪＡバンクあきたウィンターキャンペーン）
08　インフォメーション
09　理事会報告・青年部活動報告と予定
10　フォトニュース

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。JAグループ
JAグループ秋田キャッチフレーズ
いいねをいっぱい届けたい
JA大潟村

あぐりプラザ トクトク情報

★『大相撲シールを集めてポイントどっさりプレゼント企画』の開催

大相撲シール配布日：**11月10日㈯～11月25日㈰**

ポイント進呈日：**11月26日㈪・11月28日㈬**

（詳しくは店頭ポスターにて）

★『新規会員募集キャンペーン』の開催

開催期間：11月18日（日）～11月30日（金）

★周年祭特売

11月21日㈬・11月22日㈭ の2日間

お買い得の品盛りだくさんで皆様のお越しをお待ちしております。

※21日、22日それぞれ、1,000円以上（税込）お買物された先着100名様にはBOXティッシュをプレゼントいたします！

※22日はミスタードーナツ出張販売

★ポイント２倍デー

11月20日㈫・11月30日㈮

★ポイント３倍デー

11月28日㈬

☆きりたんぽセット、タラバガニ、クリスマスケーキの予約注文を承っております！

【営業時間】

午前８時30分～午後７時（日曜日も営業しております）

お問い合わせは
生活課（45－2214）まで。

健康百科

緑内障を早く見つける

佐久総合病院名誉院長
松　島　松　翠

日本では、40歳以上の人の約20人に１人は緑内障があるとされており、中途失明の原因の第１位を占めています。失明を防ぐためにも、緑内障をできるだけ早く発見して、適切な治療を受けることが大切です。

緑内障とは、眼圧が上昇し、そのため視神経を圧迫して視野欠損や視力障害を起こす病気なのですが、最近では、眼圧が高くないにもかかわらず、典型的な緑内障を起こす人が多いということが分かってきました。これを正常眼圧緑内障と呼んでいます。

どうして眼圧が正常でも緑内障にかかるのかというと、はっきりした原因は分かっていませんが、高齢になるほど増えてくることから、年を取って視細胞が弱くなり、壊れやすくなっていることが考えられます。

わが国では、正常眼圧緑内障が、緑内障全体の約７割を占めているといわれますが、最初のうちは、症状がほとんどないまま、ゆっくりと進行します。そのため、かなりの人が知らないうちに緑内障になっている心配があります。

自覚症状が現れてくるのは、緑内障の中期になってからで、視神経が障害されて５～10年ほどたってからです。緑内障では、いったん起こった障害は良くなりませんので、視力障害など自覚症状が出る前に早く見つけて、進行をできるだけ食い止めることが必要です。

そのためには眼圧検査だけでは不十分で、眼底検査や視野の検査が必要になります。40歳を過ぎたら、年に１回は眼科で検査を受けて、緑内障があるかどうか調べてもらうのが望ましいといえるでしょう。

第412号

女性部「活動だより」

☆これからの行事予定

◎11月15日（木）	ゲノム（遺伝子組み換え）操作食品の危険性についての講演会（天笠啓裕氏）　ＪＡ会館２階　午後２時～５時	（２ポイント）
◎11月26日（月）	婦人会50周年・女性部45周年記念講演会（坂東真理子氏）	
◎12月５日（水）	軽スポーツ大会（スマイルボーリング）	（２ポイント）
◎12月６日（木）	不用衣類回収　午前９時半～11時半　東２丁目分館	
◎12月６日（木）	豆腐作り講習会　午前９時	（２ポイント）
◎12月７日（金）	油揚げ作り講習会	（２ポイント）
◎12月13日（木）	みんなで楽しく軽スポーツ（ストレッチポール）	（２ポイント）
◎１月17日（木）	みんなで楽しく軽スポーツ（自力整体）　午前10時　健康館	（２ポイント）
◎１月上旬	パソコン教室	（２ポイント）
◎１月下旬	健康講座　診療所所長岩村先生	
◎２月	みんなで楽しく軽スポーツ（３Ｂ体操）	（２ポイント）
◎日にち未定	こめ油料理講習会	（２ポイント）

★ネギのおすそ分け

11月15日（木）、女性部と有機農業推進協議会共催の「ゲノム（遺伝子組み換え）操作食品の危険性についての講演会」があります。日頃お世話になっていますので、感謝を込めて少しではありますが、新米まつりで余った長ネギを、参加された女性部員とフレミズの方に差し上げます。

昨年の女性部研修で、印鑰先生より遺伝子組み換えについて講演をしていただきました。大きな反響がありましたので、今年も遺伝子組み換え食品について天笠啓裕氏による講演会を行います。多くの参加をお願いいたします。（栢森慶子記）

★記念式典について

11月26日（月）の婦人会50周年・女性部45周年記念式典に多くの参加申し込みがあり、大変うれしく思います。実行委員も不慣れではありますが、頑張って準備しております。

お知らせしたように、会食時にサラダバーコーナーを設けます。野菜の提供にご協力いただける方は、執行部へ11月20日までに種類や量などをお知らせください。調理はルーラルにお願いします。（山本嘉子記）

★スマイルボーリングについて

昨年まではバレーボール大会を開催しましたが、年々チーム数、人数が減ってきました。女性部の年齢が上がってきたことによりケガのおそれがある、農作業などで、住区でも人数がそろわない、などの理由です。

昨年から話し合われた結果、今年はスマイルボーリング大会をしてみることに決まりました。初めてのことなので分からないと思いますが、要綱はチラシで配布いたします。危険なスポーツではないので、誰でも参加できます。この練習については、スポーレのカレンダーの11月21日・28日　いずれも10時からです。スポーレのスマイルボーリングに各自参加して練習してください。大会には練習できなかった人でも参加できます。

また、個人会員は４人前後でチームを作り参加をお願いいたします。楽しい大会にしたいと思います。入賞を狙って大いに頑張ってください。　（栢森慶子記）

★みそ・豆腐作りについて

女性部が長年大切に取り組んできた事業であり、苦労を重ねてつくりあげたみそ・豆腐の技術を、これからも大事にして継続していきたいと思います。

今年ももうすぐスタートしますが、残念ながら利用者が年々減少しています。そのため初めての人でも取り組みやすいよう、豆腐作りの講習会を開きます。

みそについては、チームを作りますので初心者でも大丈夫です。豆についても相談に応じます。

冬の間、みんなと楽しみながら作ってみませんか。そして食事を豊かにしませんか。　（山本嘉子記）

★活動報告と各種会議報告

◎サツマイモ掘り（10月３日）

デンマークから来た、アントンさんも手伝ってくれました。若い男性の力仕事に、私たち女性はさすがだね！と芋の蔓片付けの仕事ぶりに感心！！この日はおかげで仕事もはかどり、休憩のお茶は、前に掘っておいたサツマイモや、持ち寄りのお菓子でモグモグタイム。アントンさんと楽しい時間を過ごしました。女性部の国際交流？かな。　（栢森慶子記）

◎新米まつり・野菜栽培グループ（10月７日）

この日は台風24号が秋田を通過し、開催がどうなるかと心配していましたが、博物館内で行いました。また、開催しても悪天候の中、客足が少ないだろうと予想し、出店の準備も少なめに用意しました。例年だとネギが売れるのですが、予想通りだったので春先から準備を重ねて手塩にかけて栽培した、長ネギが残ってしまいました。　（栢森慶子記）

先人に学び農業の未来をひらく

秋田県種苗交換会

第141回
秋田県秋田市

伝統と歴史を誇る日本最大級の農業の祭典「第141回秋田県種苗交換会」が、10月30日から11月5日までの7日間、秋田市を会場に開催されました。

「秋田から広がる食農　つながる未来」をキャッチフレーズに、メーン行事の談話会をはじめ、県内の農家が丹精して育てた農産物や加工品が数多く展示されました。

会期中はこのほか、多彩な催しが行われ、県内外から多くの来場者でにぎわいました。

各賞を受賞された方々（敬称略）

一等賞

（秋田県知事賞）

キャベツ　あさしお

三浦　公美

二等賞

キャベツ　あさしお

松井　仁

水稲　ゆめおばこ

松橋　勝悦

三等賞

キャベツ　あさしお

小日山宏美

おぉがたな話題

第23回　「マクロ危機、ミクロ呑気」か

タイトルは昔の大御所の言葉だ。「資本主義社会が全般的危機にあり、その打開方策こそ研究の課題とすべきだ。なのに、現実のあれが伸びたこれが縮んだと一喜一憂する表面的で呑気な学問で良いのか」厳しい問題提起に、当時の私は何も言えなかった。

いまは、それが「マクロ呑気、ミクロ危機」にひっくり返ったのではないか。現政権が、農業・農村の現場（ミクロ）が直面する問題状況を直視せず、国際競争力強化・輸出産業化で日本農業は成長できるという呑気な夢物語（マクロ）を、強権的なやり方で“やっている感”を演出しているように見えるからだ。

さらに危惧されるのは、事実や根拠に基づかずに捻じ曲げるやり方が官庁の上層部まで浸透していないか、ということだ。一例をあげると、旧種子法が国際競争力の強化と矛盾すると断定した2017年11月の事務次官通達は、その理由を①家庭用需要志向の画一的な品種開発で外食・中食・輸出用の多様な需要や生産コストを下げる品種開発に「ほとんど取り組まれていない」、②民間開発品種は「採用されにくかった」などとしたことだ。が、①は一部の道県や国の農研機構も取り組んでおり、事実ではないし、②も、民間育成品種でも優良性と普及性があれば生産と普及がなされる制度で、事例もあったのだ。

農業・農村現場の多くはどっこい生きているし、いまこそ国も国民もその緑の防人たちのエネルギーと役割を直視して評価すべきだ。大潟村の人たちにお考え願いたいのは、八郎湖に流れ下る二十数本の河川上流域の人々の状況に思いを致して欲しいということだ。あちこちの上流域が消えたら、いかに上質の水利システムを張り巡らしていたとしても、最下流域だけが安泰ということはあり得ないと思うからだ。

〈つづく〉－「おぉがたな話題」は次回最終回です－

秋田県立大学名誉教授
佐藤　了

（さとう　さとる）
1949年秋田県生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程単位取得。農林省農事試験場、農林水産省農業研究センター、東北農業試験場で試験研究に従事。1997年に秋田県立農業短期大学教授に就任。秋田県立大学生物資源科学部教授、学部長を経て、2014年３月定年退職。専門は農業経済と地域計画。

営農だより

※このコーナーは 隔月で掲載致します。

平成30年度作況調査結果について

本年は穂数と１穂着粒数から見た㎡当りの籾数が平年より少なかったことに加え、登熟前半の低温・寡照と台風21号の強風で９月上旬に上位葉が枯れたことなどが影響して登熟不良となり、収量は平年を大きく下回りました。品質においても登熟が低下し全般的に整粒不足が目立ちました。

村内全体の平均収量は561kg/10aで、作況指数は89の「著しい不良」となりました。

営農支援課　平成30年度作況調査結果　品種別内訳表

区分	品種	作付比率(%)	面積(ha)	10a当たり収量	生産量(kg)	区分	品種	作付比率(%)	面積(ha)	10a当たり収量	生産量(kg)
うるち	あきたこまち	52.150	4,453	514	22,888,420	もち他	たつこもち	25.233	2,154	620	13,354,800
	めんこいな	1.260	108	605	653,400		きぬのはだ	8.638	737	603	4,444,110
	ゆめおばこ	0.462	39	605	235,950		ときめきもち	3.999	341	631	2,151,710
	萌えみのり	0.831	71	608	431,680		その他	0.205	18	570	102,600
	その他	6.144	525	590	3,097,500		酒米	1.079	92	580	533,600
	小計	60.847	5,196		27,306,950		小計	39.154	3,342		20,586,820
合計		作付比率(%)	面積(ha)		生産量(kg)						
		100.0	8,538		47,893,770		平均単収	561kg			

まとめ

総作付面積	8,538ha
生産量合計（品種毎の生産量合計）	47,893,770kg
平年生産量（平年単収×作付面積）	54,045,540kg(633kg × 8,538 ha)
10ａ当たり平均収量	561kg
平成30年度大潟村作況指数	89
備　考	H29年村内作況指数　103 H29年村内平均収量　647kg／10ａ

※平年単収は過去５年間の最高と最低を除く平均値633kg

平成25年	614kg
平成26年	584kg
平成27年	638kg
平成28年	659kg
平成29年	647kg

今月のいちおし情報

2018 ウインターキャンペーン

がぶっとあきた産！

キャンペーン期間 平成30年11/1(木) ▶ 平成31年1/31(木)

特典1

10万円以上 | 50万円以上 | 100万円以上 | 300万円以上

定期貯金の新規ご契約金額に応じて

秋田産農畜産物をプレゼント!!

いずれか２本

※在庫状況により、ご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

参考調理例

詳細につきましては、店頭までお問い合わせください

特典2 定期貯金 キャンペーン金利

1年もの・自動継続

年0.15%（税引後0.119%）

- お申込みいただけるのは個人のお客さまです。
- 対象となるのは新規にお預入れいただいた10万円以上の1年もの定期貯金（自動継続）です。
- キャンペーン金利は初回満期日まで適用されます。なお、平成49年12月31日までに受取る利息については、復興特別所得税0.315%が追加課税され、20.315%の税金がかかります。
- ご継続の際はその時点での店頭金利が適用されます。
- やむをえず中途解約される場合は、ＪＡ所定の中途解約利率が適用されます。
- 商品については、ＪＡバンクあきたのホームページ、または、店頭に備付けの商品概要説明書をご覧ください。

特典3 マルチケースプレゼント！

10万円以上お預け入れいただいた方に限ります

※数に限りがございますので、品切れの場合はご了承願います。
※お一人さまにつき１個とさせていただきます。

JAバンク

ＪＡ大潟村　金融課

TEL45-2211(代表) 45-3018(貯金窓口)

年金定期貯金 結いの恵み 好評取扱い中！

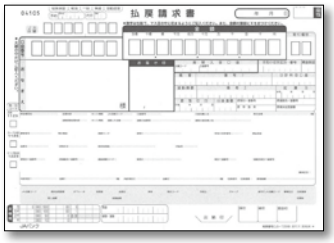
金融課よりお知らせ

貯金窓口で、口座からのお振込・お振替をされる際は通帳が必要となります

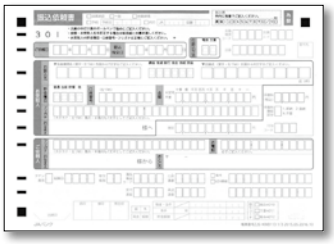
貯金事務手続の改正により、10月1日から、貯金窓口で口座からお振込（他行・他ＪＡ口座への送金）および、お振替（当ＪＡ口座への振込）をされる際は、通帳も一緒に提出していただくことになりました。

お客様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

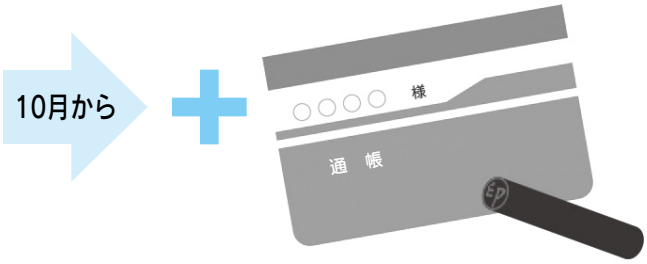
貯金窓口で口座からお振込（他行・他ＪＡ口座への送金）をされる場合



払戻請求書

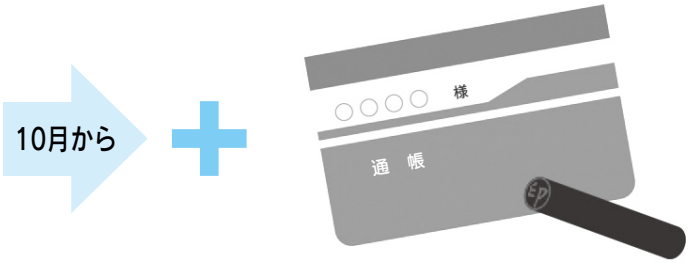


振込依頼書



貯金窓口で口座からお振替（当ＪＡ口座への振込）をされる場合

店内振込依頼書（振替用）

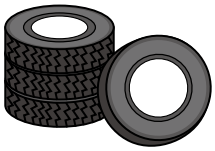


お問い合わせは金融課貯金係（TEL45−3018）まで。

冬用タイヤ予約注文取りまとめのご案内

整備課自動車では、冬用タイヤの予約注文取りまとめを11月30日(金)まで行っております。期間限定の予約販売となりますので、この機会にぜひお申し込みくださいますようご案内いたします。

※価格につきましては、10月24日配布の価格表をご覧下さい。



お申し込み・お問い合わせは整備課自動車（TEL 45−2411・FAX 45-2413）まで。

－五城目警察署からのおしらせ－

夜の道　あなたを守る　反射材

秋田県内の交通事故は、昨年と比較し発生件数、死傷者数ともに減少していますが、高齢者が関係する交通事故の割合は増加しています。

夕暮れ時から夜間にかけては、道路横断中の交通事故が多発する時間帯です。交通事故の当事者にならないためにも、次の点に気を付けましょう。

歩行者の方へ

- 夕暮れから夜間に外出する時は明るい色の服装と反射材を着用しましょう。
- 道路を横断するときは、左右の安全を確認して横断し、横断中も周囲に注意しましょう。

運転者の方へ

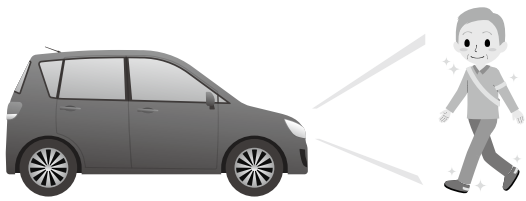
- 午後４時を目安とした早めのライト点灯を心掛けましょう。
- 対向車や前に車がいない時は、ライトの上向き走行を励行しましょう。
- 道路における「歩行者ファースト」を心掛け、歩行者等を交通事故の危険から守りましょう。

自転車の方へ

- 自転車の無灯火は違反です。暗くなったら必ずライトを点灯しましょう。
- 自転車には、前後や横からも見える場所に反射材を付けましょう。

高齢運転者の方へ

体力や判断力の低下を自覚している方や、車の運転をする必要がなくなった方は、運転免許証を返納することを検討してみましょう。警察では運転免許証の返納に関する相談を受け付けております。



五城目警察署　TEL 018−852−4100

理事会報告

10月25日開催

報告事項

- 業務報告（９月末事業実績等）
- コンプライアンス委員会報告について
- 安全衛生委員会報告について
- ＡＬＭ委員会報告について
- 自動車検査場建設委員会報告について
- たまねぎ乾燥・貯蔵・調製施設の建設進捗状況報告について
- 金利設定委員会運営要項　様式の一部改正について
- 総合口座等の再構築に係る検討委員会報告について

議　　案

第45号　自動車検査場新築工事に伴う固定資産取得価額の変更について
第46号　平成31年用資材の奨励対策および肥料・農薬・生産資材の予約注文とりまとめについて
第47号　「ＪＡ事業運営モデル指針」に定める事業運営モデルの選択について
第48号　農林中金への資本提供について
第49号　平成30年産米及び大豆に係る仮渡金の対応について
第50号　平成30年産民間流通米並びに大豆の仮渡金に関する約定書の締結について(事業所用)
第51号　平成30年産民間流通米並びに大豆の仮渡金に関する約定書の締結について(組合員用)
第52号　理事と組合との契約について
第53号　貸付金について

青年部　活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひＪＡ大潟村営農支援課(TEL：45−3033)までご連絡ください！

●活動報告

10月29日　柿もぎ ふれあい健康館　終了後、青年部圃場にてマルチ剥ぎ
11月 1日　種苗交換会 秋田市

●活動予定

11月21日　青年大会 ビューホテル10：00～

ＪＡ大潟村の概況　30年10月末現在

貯　金…278億7,765万円　正組合員数……1,074名
貸出金…　71億6,528万円　准組合員数……　41名
出資金…　9億3,855万円

施錠の徹底をお願いします

米盗難防止パトロール出発式

村内の安全のため活動する「大潟村安全安心ネットワーク委員会」は10月15日、米盗難防止パトロールの出発式を行いました。

委員会の菅生金作会長は、「実りの秋は特殊詐欺や窃盗などの犯罪や事故が増える時期なので、農家の皆さんは十分に気を付けてほしい」とあいさつしました。

今年は低温や台風により、米の作況が低く、米価が高めに推移しています。収穫した米を盗難被害から守るため、保管場所の施錠や在庫管理の徹底などの自己防衛が大切です。

委員会は五城目警察署と関係を密にし、年末まで随時パトロールを行います。

★不審者などの情報は五城目警察署（☎018-852-4100）へ

あいさつする大潟村安全安心ネットワーク委員会菅生金作会長

出発式の様子

絶好の青空の下、プレーしました

JAバンクあきたG・G大会

10月18日、第6回JAバンクあきたグラウンド・ゴルフ大会が、潟上市グラウンド・ゴルフ場で行われました。全県14JA管内から合わせて37チーム185人が参加し、秋晴れの中、8ホール×4コースを元気にプレーしました。

この大会は、年金友の会相互の親睦と会員の健康増進および相互交流の促進をはかるために、JAバンクあきたが開催しています。

JA大潟村チームとして、大潟村グラウンドゴルフ愛好会（佐藤友男会長）のメンバーが5名ずつ2チームに分かれて出場しました。大潟村の最高は三浦重夫さん（合計打数80、うちホールインワン1打数）で、全体での順位は52位でした。

（写真左から）佐藤友男さん・三浦重夫さん・（一人とばして）村上勉さん

髙橋きよこさん

山口原右さん

（写真左から）工藤兼雄さん・佐藤栄一さん・佐藤正則さん

佐藤シヅヱさん（写真左）と三浦サチさん（同右）

東北での一大産地を目指して

たまねぎ定植始まる

JAは、農業所得の増大と農業生産の拡大のため、従来の特産品であるかぼちゃやメロンに加え、新たにたまねぎの生産に力を入れています。

稲刈り後の10月下旬から、たまねぎの定植が本格化しました。

このうち、10月25・26日に1.2㌶定植した松本正明さんは、「稲刈り後に約1か月圃場を乾燥させ、10月22・23日にGPS付き専用トラクターで畝立て作業を行った。最初のセッティングが合えば、後はまっすぐ進むので大変楽だった。」と感想を述べました。

JAの農産部会「たまねぎ生産組合」の会員は現在29人で、2019年産の作付面積は57㌶の見込です。3年後には100㌶での栽培を目指します。

定植の様子（10月25日）

定植前の畝立ての様子（10月22日）

〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-5　TEL 0185-45-2211㈹　FAX 0185-45-2273
インターネットアドレス http://www.ja-ogata.or.jp/　組合長ブログ http://blog.ja-ogata.or.jp/
発行／大潟村農業協同組合　印刷：㈱八郎潟印刷